

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
2000.8.9 No. 5178

検修職場に要員を!

検修職場に要員を

幕張からの職場報告

検修職場をめぐる状況は、度重なる大合理化、検査周期の延伸、二〇年に及ぶ新規採用の停止による技術力の継承の問題、検査修繕方法の省略、作業工程や責任体制の未確立、外注化などに見られるようにJR当局は、列車の安全を省みずに闇雲に要員削減を進めてきました。

その結果まともな保守など不可能といわざるをえないところまで行き着いてしまい、国鉄時代にはとうてい考えられなかった車両故障が相次いで発生しています。

車両故障事故が起こると責任を検修社員に押しつけ、業務上のミスを理由として処分がかけられています。そして、業務を外して一日中会議室に閉じこめて検査標準、規程を読ませ、自認書を書かせるという攻撃がかけられています。

当局が後検査制度をなくし、後検査をやっていたら防げた事故も責任施工だといひ、個人に責任を押しつけています。この異常な労務政策に検修の仲間たち、怒りの声をあげよう。

幕張電車区での問題点

◆ 慢性的な要員不足

要員表

機動班 (大修、特修工事を含む)

H12.8	H11.8	H10.1
←	←	
12名	21名	25名

交検

H12.8	H11.8	H10.1
←	←	
20名	25名	25名



前の要員表を見てのとおりこの二年間で機動班の要員は半分以上になり、また今年度中に三名が出向の予定で、機動班は、派出、仕業、弱電、交検の予備要員を含んでいます。その結果日常的に要員が足りず年休もまともにとれません。当局・助役も要員まわしができず悲鳴をあげています。

大修作業(モーター、軸、冷房交換等)は、二日であげる作業を一日でやったり、要員を減

らして作業したり、きめられた場所で作業しなかったり、安全のためにきめられた労働条件を一方的に変えてきています。

この要員で作業、仕事は回るはずがなく当たり前のように五時から人を集め、超勤で作業して仕事をやつと回っている状態です。

構内・仕業も要員不足の為、年休がとれません。構内運転担当が足りないのなら運転士から強制配転され資格をもっている

人が多数いるのに一切ハンドルの握らせないという露骨な労務政策をしています。

また、はじめて仕業を担当する人を二回の泊まりの見習いだけで本番をやらせるという職場がJRの中を探してみても幕張電車区しかないと思います。

以上挙げた問題は、職場で

起こっていることの一部でしかありません。国鉄時代に培われた労働者の技術力でなんとか検修体制が維持されているが、これ以上こんなことを続ければ大変なこと事態を招くことは明らかであります。動労千葉、国労、鉄産労とこの組合でも関係ありません。事故が起これば責任をとらされるのはわたしたち検修の労働者です。一緒に怒りの声を上げよう!
検修職場から総決起しよう!